

日印産連表彰受賞者のご紹介

日印産連表彰は、長年にわたり印刷産業の発展に貢献された個人・団体に対して顕彰する制度で、「9月印刷の月」記念式典において表彰が行われる。

本年度は、印刷功労賞 13 名、印刷振興賞 17 名・特別賞 1 名 1 団体が表彰を受けた。

日印産連表彰規程（抜粋）

- ☐ 印刷功労賞は次の各項のいずれかに該当する者に授与する。
 - ①印刷産業界にあって団体運営を通じて印刷産業の発展向上に寄与した者
 - ②その他、前項に準ずる者
- ☐ 印刷振興賞は次の各項のいずれかに該当する者に授与する。
 - ①業務の進歩改善に著しく貢献した者、若しくは特に技術優秀な者又は優れた発明考案をした者
 - ②多年に亘り後進の指導並びに業界指導に貢献した者
 - ③その他、前項に準ずる者
- ☐ 特別賞は次の各項のいずれかに該当する者（団体を含む）に授与する。
 - ①地域社会の諸活動を通じて地域の振興に貢献し、以って印刷産業界の地位向上に寄与した者
 - ②福祉活動を通じて社会に貢献し、以って印刷産業界の地位向上に寄与した者
 - ③その他、前項に準ずる者

印刷功労賞



望月 克彦

望月印刷㈱
代表取締役会長

印刷工業会

●推薦理由●

平成 12 年印刷工業会監事に就任し 5 年にわたりその任を務める。その後、同会理事の要職を 8 年間務め現在も任期中である。その間企業経営に従事する傍ら、業界での活動を通じて印刷業界を取り巻く環境変化に真摯に対応すべく尽力した。また日本印刷産業連合会においては平成 14 年から監事を務め現在も任期中である。この様な積極的な活動を通じ印刷産業に対する貢献度は高く評価できる。



鶴田 真人

図書印刷㈱
顧問

印刷工業会

●推薦理由●

平成 20 年から印刷工業会の資材部会長を務め、不安定な印刷用紙や諸資材の市況問題に積極的取り組み、用紙代理店に対し印刷用紙の安定的供給を要請し市況安定化の改善に努めた。また、産業廃棄物の適正処理問題に関しても、産廃処理現場の見学会を部会で実施し、法令遵守に向けた活動を推進するなど、資材部会長として在任中の活動実績には非常に顕著なものがある。

印刷功労賞



森 永 伸 博

㈱伸正社
代表取締役

全日本印刷工業組合連合会

●推薦理由●

平成 18 年から 26 年にかけて、全印工連の常務理事、東京地区印刷協議会会長、MUD（メディア・ユニバーサルデザイン）推進プロジェクト委員長を、日印産連においては、平成 16 年から 26 年にかけて、広報委員会委員、国際委員会委員、理事などの要職を務める。特にMUDの普及活動においては、卓越した指導力を発揮し、コンペティションやセミナーの開催を通じ、印刷業界の取り組みと社会貢献を広くアピールするなど、その功績は多大である。



西 原 透

第一印刷 ㈱
代表取締役会長

全日本印刷工業組合連合会

●推薦理由●

平成 24 年から 26 年にかけて日印産連の理事、平成 22 年から 26 年にかけて全印工連常務理事、四国地区印刷協議会会長など数々の要職を歴任し、現在も愛媛県工組の理事長を務める。この間、経営革新委員会、経営革新・マーケティング委員会の委員として、中小印刷業界の経営戦略の研究、マーケティング戦略の研究などに尽力し、また、全印工連 2008 計画から 2012 計画を積極的に推進するなど、業界の振興発展に尽くした功績は多大である。



瀧 本 正 明

㈱やまとカーボン社
代表取締役会長

日本フォーム印刷工業連合会

●推薦理由●

平成 14 年より関西フォーム印刷工業会理事及び副会長を歴任、現在は京都府印刷工業組合理事長を務める。平成 21 年からは日本フォーム印刷工業連合会の理事に就任し、常に先頭に立って業界の振興発展と地位向上に大きな役割を果たした。さらに会社においては率先垂範して印刷現場に立ち、長年に渡りフォーム印刷の研究・開発に取り組んだ。また、同業者との情報交流も活発に行い、後進の指導並びに業界指導などに多大に貢献。



谷 忠 明

㈱オレンジ社
代表取締役

一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会

●推薦理由●

平成 22 年 6 月よりジャグラー事業の肝要である経営基盤確立委員長に就任し、現在ジャグラーの公益事業である「個人情報保護」「DTP教室」「ジャグラーBB」の推進を図り、事業収入の確保を図るとともに会員のためになる事業を推進した。また平成 18 年から 2 期 4 年と平成 24 年から 1 期 2 年は個人情報保護委員長としても個人情報保護の推進とプライバシーマークの普及に尽力した。



岩 崎 達 夫

㈱イワサキ
代表取締役

全日本製本工業組合連合会

●推薦理由●

長年に亘り愛知工組副理事長、理事長の要職を務め、製本業組合員の経営基盤の確立に尽力した。特に製本実習教室を主催し、業界外の人々に製本技術や製本の魅力を教授するなど、地域における社会貢献に努めた功績は大である。平成 22 年には全製工連副会長に就任し、紙製品製本専門委員会の担当副会長として紙製品製本専門委員会の充実化に努めたほか、製本業界の振興発展に大きく貢献している。



川 本 嘉 博

㈱ینگカワモト
代表取締役社長

日本グラフィックコミュニケーションズ
工業組合連合会

●推薦理由●

経営環境の変化に適応した生産技術の改良、ソフトウェア開発など、業界のビジネスモデルの構築等に先導的な役割を果たしている。企業経営に従事する傍ら、多年に亘って業界団体組織のG C J副会長、G C中部理事長等の要職を歴任し、その重責を担う。積極的に組合の各種事業活動を推進、円滑な組織運営と育成の任にあたった。業界組織の活性化、財政基盤強化に尽力しその礎に大きく寄与した功績は顕著である。

印刷功労賞



柴田 健一

福岡シール㈱
取締役社長

全日本シール印刷協同組合連合会

●推薦理由●

九州シール印刷協同組合専務理事 1 期 2 年間、理事長 2 期 4 年間在籍中は前理事長の掲げていたスローガンの「九州の仕事は九州で」のもと組合組織の活性化と、組合主催の技術研修会での組合員の技術向上に広く寄与するとともに、青年部との情報交換・交流にも積極的に関与した。

また、東日本大震災後は東京都ラベル印刷協同組合との緊急時相互委託生産協定にも参加した功績は非常に大きい。



堀川 昇

日新シール工業㈱
代表取締役社長

全国グラビア協同組合連合会

●推薦理由●

平成 15 年に関西グラビア協同組合の理事に就任。同 17 年副理事長に、また同 25 年に理事長に就任するなど組合の要職を歴任し現在に至っている。永年に亘り組織強化、業界の振興発展に貢献した。また、全国グラビア協同組合連合会の副理事長も務め、業界の環境問題への対応、社会的責任への取り組みなど各種事業を推進している。さらに近年は、組合員、賛助会員、青年部を拡充し、グラビア印刷業の地位向上と組織拡大に努めた功績は多大である。



嶋 信介

八欧産業 ㈱
代表取締役

全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会

●推薦理由●

東京スクリーン・デジタル印刷協同組合の理事・専務理事を歴任、その間、環境対応委員長として P R T R 法、化学物質管理、環境保全の指導に努め、現在も、環境測定・健康診断の遵法・啓蒙活動に努めている。又、平成 21 年度から 24 年度まで、全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会専務理事として、新たな会員対象となったスクリーン・デジタル印刷業者への連合会活動の紹介・普及の先導的な役割を果たした。



荻野 隆

太成二葉産業㈱
代表取締役

全日本光沢化工紙協同組合連合会

●推薦理由●

印刷業界の環境変化に適応した技術開発や経営改革の推進を図り事業拡大を進める傍ら、多年にわたり地域の振興発展に貢献、平成 18 年に関西光沢副理事長の要職に就くと、組合経営に指導力を発揮し、事務局運営の改革や関西光沢組合 50 周年記念式典開催に尽力するなど、功績は大である。平成 18 年からは全日本光沢化工紙の副会長の要職に在り、平成 24 年には東京光沢の理事に就任、技術委員活動に貢献するなど多岐に亘って業界の振興発展に寄与している。



濱 照彦

学校法人 日本プリンティングアカデミー
名誉教授（前学校長）

一般社団法人 日本印刷産業連合会

●推薦理由●

昭和 53 年日本プリンティングアカデミー（JPA）創設に参加、平成 26 年 3 月退官まで 36 年に亘り印刷人育成、特に印刷会社の後継者育成に尽力。現在同校の卒業生は約 1,000 名に達している。又、豊富な経験を生かし、印刷 OEM 研究会、デュアル教育システム導入推進委員会、技能五輪国際大会の選手選考会、印刷製品の海外コンテスト等の業界活動に対し多岐にわたり貢献するなど、印刷産業界発展向上に多大に寄与した功績は多大である。

印刷振興賞



鈴木 秀夫

(株)DNPテクノパック
代表取締役社長

印刷工業会

●推薦理由●

パッケージ印刷に係る製造技術・生産性・品質の改善に努め、日本のみならずアジアでの生産力向上を主導し、また後進技術者の育成に尽力すると共に、材料・インキ・機械メーカー等、協力会社とも協働しながら業界の発展に貢献した。



樋口 健次

凸版印刷(株)
技術企画部 嘱託

印刷工業会

●推薦理由●

オフセット印刷に長年携わり平成22年には社内資格・技能士を取得。現在は技能指導者として技術の伝承に努めると共に若手の指導にあたる。また、技能五輪国際大会ではエキスパートとして3大会に出場し、指導の日本代表選手が優勝する等の好成績を残した。



待井 昇

(株)廣済堂
執行役員 統括部長

印刷工業会

●推薦理由●

長年に亘り生産部門全体に携わり、生産性の改善及び品質保証体制の確立など円滑な事業運営に尽力。社内はもとより業界内の信頼も厚く、卓越した指導力により後進の育成、生産部門の技術レベル向上に貢献した。



高橋 良一

新村印刷(株)
取締役 営業部門統轄役

印刷工業会

●推薦理由●

入社後3年で営業部勤務となり、その後営業一筋で活動。デジタルプリントでの新規事業の立ち上げ、新規開拓での企画・デザイン部門の立ち上げ、又商印部会CP研究会リーダーとして若い営業マンの支援活動等で業界の発展に貢献した。



吉田 吉太郎

(株)精真社
代表取締役会長

全日本印刷工業組合連合会

●推薦理由●

平成14年から現在まで、全印工連理事、群馬県工組理事長、関東甲信越静地区印刷協議会幹事などの要職を務める。この間、全印工連2008計画から2012計画を推進し、関東甲信越静地区全体の発展に大きく貢献した。



高井 道晴

三恵印刷(株)
代表取締役社長

全日本印刷工業組合連合会

●推薦理由●

平成18年から現在まで、全印工連理事、大分県工組理事長の要職を務める。この間、組織・共済委員会副委員長として、各種の共済事業の研究および普及活動に努め、全国の組合員企業の福利厚生の上向上に大きく貢献した。



松下 栄一郎

中央印刷(株)
代表取締役社長

全日本印刷工業組合連合会

●推薦理由●

平成19年から25年まで全印工連理事、鳥取県工組理事長の要職を務める。この間、官公需対策協議会初代議長として、全印工連で初となる全国協議会を開催し大きな成果をあげるなど、全国の官公需制度改善に貢献した。



池澤 茂

(株)ビーエフ
取締役生産本部長兼技術部長

日本フォーム印刷工業連合会

●推薦理由●

平成15年に技術委員会委員に就任、変革の著しいBF業界の技術的懸案について積極的に取組む。平成22年には同会の副委員長に就任、セミナー等の企画を行ない、会員への情報提供、技術的方向性を示す等、業界の振興と発展に大きく貢献。



和田 秀一郎

(株)プロゴウス
代表取締役社長

日本フォーム印刷工業連合会

●推薦理由●

平成 18 年に九州フォーム印刷工業会の会長に就任し、財政面立て直し、会員及び特別会員の積極的な入会勧誘、会員交流や勉強会も創意工夫する等、会の存在意義や価値を高めた。地方の現状・経験を連合会に反映すべく、業務委員会委員としても活動中である。



坂本 昭一

㈱新光社
代表取締役

一般社団法人日本グラフィックサービス工業会

●推薦理由●

長年に渡り栃木県支部長として活躍し、支部会員の融合と支部の活性化に取り組んだ。またジャグラーコンクール委員長（副会長）として作品展の実施スケジュールを確立し、事業年度変更に伴う混乱を最小限で解消した。



辻 紘一

(株)万成社
代表取締役

一般社団法人日本グラフィックサービス工業会

●推薦理由●

ジャグラー副会長・四国地協会長として、会員の退会で混乱のあった四国地協の融合を図り、混乱を最小限にとどめた。また、ジャグラー副会長・理事時代を通じて組織改革に取り組み、財政改革で成果をあげる一助となった。



大谷 博

㈱岡山みどり製本
代表取締役

全日本製本工業組合連合会

●推薦理由●

岡山工組の会計理事、理事長の要職を長年務め、地域製本業の発展に尽力した。この間、組合員の取引慣行の是正に積極的に取り組み、成果を上げるなど、製本業の取引慣行の改善に寄与した。



青木 英一

(株)松岳社
代表取締役

全日本製本工業組合連合会

●推薦理由●

長年に亘り、東京工組の理事・副理事長を務める。この間、認定職業訓練校である東京製本高等技術専門校の充実化を図ったほか、ポータルサイト「製本のひきだし」の立ち上げに尽力し、成功に導いた功績は大きいものがある。



永野 雅子

㈱飛鳥
常務取締役

日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会

●推薦理由●

多年に亘り企業経営に携わる傍ら、組合の財政担当等の要職を歴任。現在 G C J 理事・G C 四国副理事長として、四国地区の厳しい業界組織の運営・振興に先導的な役割を果たすなど、組合事業の推進を通じて組織基盤づくりに尽力した功績は多大である。



本間 敏道

東京都ラベル印刷協同組合
専務理事

全日本シール印刷協同組合連合会

●推薦理由●

業界紙勤務を経て事務局入局後、員外理事、専任専務理事に就任。その経歴から人脈が広く歴代理事長を補佐し、組合運営では先頭に立ち尽力し信望も厚い。また、東日本大震災後を契機に印刷業界初の地方協組間との緊急時相互委託生産協定にも尽力した。



中島 省吾

極東高分子(株)
製造部門 顧問

全国グラビア協同組合連合会

●推薦理由●

50 年間に亘ってグラビア印刷業に従事し、正にグラビア印刷の歴史、変遷を知り尽くした第一人者である。また、北海道で開発した寒冷地でのグラビア印刷の技術に貢献をし、現在は次世代の育成に携わっている。

印刷振興賞



中村 清泰

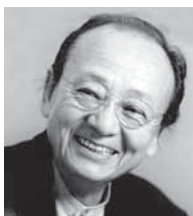
株東ブリ
代表取締役

全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合
連合会

●推薦理由●

大きな伸縮性を有する編織物に対するスクリーン印刷技術の開発、ポリウレタン系接着剤を被覆した画期的な転写シートで特許取得など、業界を先導する技術開発を推進し業界の技術発展に大きく貢献した。

特別賞



勝井 三雄

株勝井デザイン事務所
代表取締役

一般社団法人 日本印刷産業連合会

●推薦理由●

日印産連主催の全国カレンダー展および全国カタログ・ポスター展において、平成14年から審査委員長に就任。実に40年以上の長きにわたり両コンクールの審査に携わる。この間、カレンダー展は65回目、カタログ・ポスター展は55回目の開催実績を重ねた。また、ニューヨークADC金賞・東京ADC会員賞・東京ADC原弘賞・講談社出版文化賞・芸術選奨文部大臣賞・通産省デザイン功労者賞など、グラフィックデザイナーとしての氏の作品は国内外で高く評価されている。平成8年には紫綬褒章を受章。1970年大阪万博以来、多くの万博のADとしても活躍している。主催コンクールを通じて、関係業界のみならず 広く一般社会へ向けた広報活動に対する功績は多大である。

武蔵野美術大学名誉教授。日本グラフィックデザイナー協会前会長（2009年～2012年）。同協会現理事。東京ADC、AGI（Alliance Graphique Internationale）各会員。

大阪府グラフィックサービス協同組合 コスモス会

会長 岡 加代子

一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会

●推薦理由●

コスモス会は、一般社団法人日本グラフィックサービス工業会（ジャグラ）の大阪府支部である大阪府グラフィックサービス協同組合（OGS）の婦人部のような位置付けとして平成2年に結成された女性の会である。当初は、女性経営者と女性管理職を対象にし、女性の会をつくろうということで14名から活動を開始し、平成26年では32名である。

活動の内容としては、経営者としてのセミナーのほか、親睦を深める活動や女性ならではの健康維持のための活動等、業界の活動の一助を担っているほか、女性の視点をいかしたボランティア・社会貢献活動等も実施しており、あしなが育英会、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（Save the Children Japan）に対する寄付も行っており、社会的な評価を得ている。ジャグラもこうした活動を評価し、平成8年社会貢献表彰をしている。

